

淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査

～計画地周辺の地下水の流れを調査しています～

- 県では、公益財団法人鳥取県環境管理事業センターが産業廃棄物処理施設の設置を計画している米子市淀江町地内の土地について、地下水の流向等を把握するために地下水、地層及び地質などを調査しています。
- 調査では、地質調査、水文調査、水質調査を行い、得られた結果を用いて3次元シミュレーションを行い、地下水の流動を解析しています。（調査地点は裏面参照）
- なお、この調査は、鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例に基づき設置した鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会において策定する調査計画に沿って実施し、その調査及び解析の結果は、地下水等調査会において評価します。

第1回調査会（R2.2.16）で調査方針を決定し、第2回調査会（R2.5.17）で決定した調査計画に従い、まず、パイロットボーリング（3本）で概況を把握し、第3回調査会（R2.9.22）で詳細な調査内容を決定しました。

地質調査

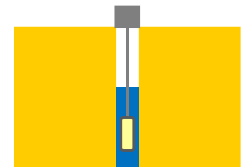
- ・ボーリング調査（計11地点）で、地質の状況や帯水層の構造などを把握します。
- ・過去のボーリングデータも活用し、地域一帯の地質の状況などを把握します。



【期間】R2年7月～

水文調査

- ・ボーリング調査の孔を活用した井戸などで、地下水位を連続観測（1年以上）します。
- ・河川の流量を観測します。（計画地周辺は1年以上、その他はR2年11月に実施）



【期間】R2年8月～

水質調査

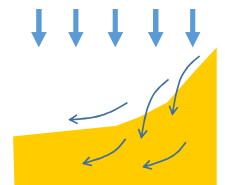
- ・地下水や河川水を採水して、溶けている成分などを分析します。
- ・水質の類似性・相違性などから、地下水流動状況の解析を行います。



【期間】採取：R2年11月、R3年2月頃
※その後、分析・解析を実施

3次元シミュレーション

- ・各調査で得られたデータを基に3次元シミュレーションで、表流水及び地下水の流れを再現します。
- ・水質による解析とも合わせ、計画地の地下水の流動等について総合的に評価します。



【期間】モデル構築・検証：R3年1月頃～

調査の進め方

- ・この地下水調査は、学術的・中立的に実施する必要があるため、地下水・地層・地質の調査に我が国でも権威のある有識者による「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」を設置して、調査会が示す方法で調査を実施し、その結果を調査会が公平中立的に検証することとしています。
- ・調査会の会議は、公開で行っており、どなたでも傍聴していただけます。また、これまでの会議資料や議事録は、県のホームページ（とりネット）で御覧いただけます。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>

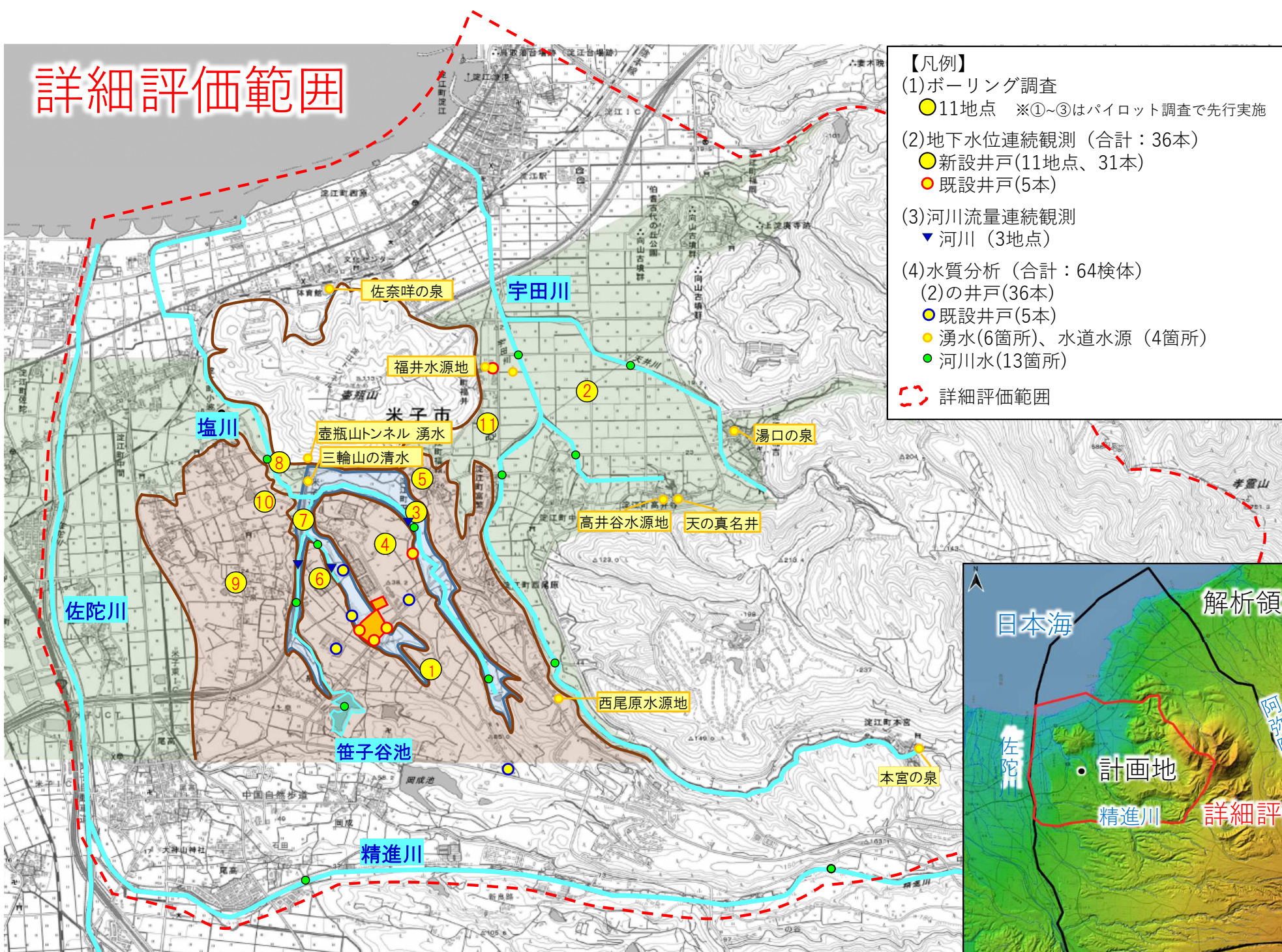
問合せ先

県庁淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

電話：0857-26-7498 FAX：0857-26-8189

Eメール：sanpaikakushinsa@pref.tottori.lg.jp

詳細評価範囲



- 【凡例】**
- (1)ボーリング調査
 - 11地点 ※①~③はパイロット調査で先行実施
 - (2)地下水連続観測 (合計: 36本)
 - 新設井戸(11地点、31本)
 - 既設井戸(5本)
 - (3)河川流量連続観測
 - ▼ 河川 (3地点)
 - (4)水質分析 (合計: 64検体)
 - (2)の井戸(36本)
 - 既設井戸(5本)
 - 湧水(6箇所)、水道水源 (4箇所)
 - 河川水(13箇所)
- 詳細評価範囲

調査地点

